

# みんなで書き初めばしてみんね！ ～文字に込めた思いを伝えよう～

令和4年1月8日（土）

【担当：小野 栄策】



## （1）事業の背景

国立青少年教育振興機構（以下、当機構）では、毎年1月6日に国立オリンピック記念青少年総合センター（以下、オリセン）を会場として、全国から高校生や大学生を募り「全国青少年書き初め大会」を開催しています。本大会は、第11回の開催を終え、大会の知名度も上がり、参加者数もある一定の段階まで確保することができています。

一方で、本大会がオリセンの所在する東京での開催である点や、対象が高校生及び大学生に限定されている点などから、全国の青少年に幅広く体験の機会を提供できているとは言い難い状況です。

この背景を踏まえ、当機構では青少年に対して様々な体験活動の場や機会を提供し、広く普及するという基本理念に則り、日本の伝統文化の一つである「書」活動についても、青少年の文化体験活動の裾野をより広げることを目的に「全国一斉書き初め大会」を新設し、全施設において書き初めに関連するイベントを毎年開催することとしました。具体的には青少年やその家族を対象に、書き初めや日本の伝統文化に触れる機会を設けます。令和4年度からの全施設本格実施に先駆け、令和3年度は試行事業として実施するものです。

## （2）事業の趣旨

日本の伝統文化の一つである「書」活動について、青少年の文化体験活動の裾野をより広げることを目的に、書き初めに関連するイベントを開催し、青少年やその家族を対象に書き初めや日本の伝統文化に触れる機会を設ける。

## （3）目標

- ① 積極的に友達と関わり、協力して活動することができる。
- ② 筆ペンアート、書道に興味を持ち、好きな文字を丁寧に書くことができる。
- ③ 自分の作品に対する思いをみんなに伝えることができる。

## （4）対象

小学3年生～中学3年生 30名程度

## （5）事業の実施

### ① 参加者

17名（男子6名、女子11名）

	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	合計
男子	4	1	1	0	0	6
女子	1	2	6	1	1	11
合計	5	3	7	1	1	17

② 日程

時間	内容
9:30	受付
9:45	始まりの会 仲良くなるゲーム
10:30	カラフル筆ペンアート
12:00	昼食（お正月料理を食べよう）【レストラン】
13:00	ミニ講演（言葉に込めた思い）
13:30	書き初め体験
15:00	作品発表会
15:30	書道部パフォーマンス
16:00	終わりの会 解散

③ 活動の様子

【仲良くなるゲーム】



【仲良くなるゲーム】

受付、始まりの会が終わり、緊張感が漂う雰囲気を和ませるために、仲良くなるゲームを行いました。顔も名前も知らない子供たちが、気軽に話せるように、じゃんけんゲーム・自己紹介ビンゴゲームを行いました。初めて会った子と仲良くなり、昼休みも一緒に遊び、友達づくりのきっかけとなりました。

【カラフル筆ペンアート】



【カラフル筆ペンアート】

子供たちは、好きな字を一字決めて、はがきサイズの紙に、筆ペンでカラフルに字を描きました。講師から「普段書いている字の概念にとらわれず自由に書こう」とアドバイスをいただき、文字の色や形、大きさや書く方向などを工夫し、イメージをさらにふくらませて作品を完成させました。講師が机間指導の中で、迷っている子への具体的なアドバイスや作品を褒めることで、子供たちのやる気につながっていました。



習字とは違って自由に表現できたこと、自分の考えたアイデアがきれいに表現できたこと、色づかいや書く場所によって作品の印象が違うことに気付けたことなど、作品作りを楽しんでいました。

最後はお気に入りのカードを一枚選び、はがき掛けに貼って、家で飾れるようにしました。

### 【お正月料理】



### 【お正月料理】

昼食は、レストランのご厚意によりお雑煮とお節料理を準備していただきました。お節料理には子孫繁栄や長寿、出世、運氣上昇などの願いを込められていることを紹介し、みんなで食べました。きれいな盛り付けに感動したようで、日頃食べられないような食材も出て、見た目も楽しみながら会食を楽しみました。

### 【書き初め】



### 【書き初め】

まず、講師が、書道を志したきっかけや書道のすばらしさなどを紹介しました。

次に、講師が、準備したお手本をもとに西海学園高等学校書道部の生徒たちの支援を受け、書き初めを行いました。親しみやすいお兄さん・お姉さんが、マンツーマンで分かりやすく教えてくれたことで、子供たちは集中して、お手本に近づくような美しい文字を書くことができました。

最後に、書道部の生徒が司会を務め、「なぜ書き初めにこの字を選んだか」を一人一人発表しました。参観した保護者も「こんなに上手にかけるとは思いませんでした」と技術の上達ぶりに驚いていました。



### 【書道パフォーマンス】



### 【書道パフォーマンス】

事業の締めくくりとして、西海学園高等学校書道部の生徒たちが、書道パフォーマンスを披露しました。個々の書道技術を寄せ合い、大きな紙に色とりどりの墨汁で書かれる字は、とてもダイナミックで参観者を魅了しました。

この活動は、自然の家インスタグラム登録者にライブ配信しました。はじめての取組でしたが、複数の視聴が確認できました。

## (6) 評価

### ① アンケート結果 (キャンプ全体に対する満足度)

満足	やや満足	やや不満	不満
100%	0%	0%	0%

### ② 参加者の声

- ・自分の考えがうまく表現できた作品があって、先生に褒められました。
- ・カラフルに字を書けて楽しかったです。いろいろな形にするところが思った以上に、楽しかったです。
- ・想像力をのばす機会でもあり、優しくアドバイスやポイントを教えてもらえました。

いろいろなアイデアを思いついて、とても楽しかったです。

- ・最初書いた時よりきれいになったのでうれしかったです。みなさんのおかげでちょっと習字が好きになりました。
- ・書道の先生や学生さんたちも来てくれて楽しくなりました。書道パフォーマンスを生で見られて、迫力がありました。学校でも頑張りたいです。
- ・書道の指導、発表会の司会、書道パフォーマンス、すべてが頼もしかったです。

## (7) 成果と課題

### 1) 成果

#### ① カラフル筆ペンアート

- ・カラフル筆ペンアートを取り入れたことで、字を書くことが苦手な子供も意欲的に取り組むことができました。
- ・講師が、一人一人優しく具体的なアドバイスを行い、作品の良いところをたくさん褒めていただいたおかげで、子供たちのやる気が高まり、意欲的に活動に臨むことができました。
- ・少し活動時間が長いように感じましたが、全員集中して作品作りに没頭することができました。

#### ② 書き初め

- ・書き初めの指導で、西海学園高等学校書道部の生徒たちの協力を得られたことは、参加した子供たちの技術向上だけではなく、高校生への支援する力を高められたので効果的でした。
- ・年齢も近く、親近感もあり、書道の知識や技能を持ち合わせた高校生が、指導することで、個別指導を充実することができました。

#### ③ 作品発表会、書道パフォーマンス

- ・作品発表会や書道パフォーマンスの運営も高校生に任せることができました。
- ・作品発表会や書道パフォーマンスは、コロナウィルス感染症対策を十分に行いながら保護者にも参観を促しました。また、当日参加できない方々のためにインスタライブ配信という形でパフォーマンスを大勢の人に見ていただきました。子供だけでなく大人にも体験活動のよさを感じていただけました。

### 2) 課題

- ・今回は「書」にこだわって活動内容を構成してみました。自然体験をメインに行う施設の強みを生かすうえでも、書に興味がない子供たちも参加しやすいプログラム内容を考えていく必要があります。
- ・お正月料理の評価がとても低かったのは、正月休み明けなのに、似たメニューであったことからあまり食が進まなかったことが考えられます。例えば七草がゆなど伝統文化の食を学ぶなど、食育の時間として工夫していくことも考えられます。
- ・チラシの配付、広報誌への掲載などにより募集を行ったが、十分な参加者を確保できませんでした。広報内容・広報の仕方などを考えていく必要があります。

### 3) 今後の展望

高校生との連携が効果的だったので、今後は、地元の高校にアプローチして今回同様の書道活動を仕組むことが考えられます。また、子供だけでなく大人にも伝統文化体験のよさを伝えることも有効だと思います。今後は、親子参加型でいきたいです。